



令和5年度 読書感想文コンクール 入選者が決まりました

図書館では 今年度も読書に親しみ感動する心を育てることを目的に読書感想文コンクールを実施しました。小中学生43人から応募があり、審査の結果、次のとおり入選者が決定しましたのでご紹介します。

課題図書の一部

《最優秀》

工藤 美愛（鈴蘭小2年）
及川 ひまり（下音更小3年）
川真田 萌黄（下音更小3年）
吉井 葉結来（木野東小4年）
水野 姫愛（音更小5年）
山田 龍弥（東土幌小5年）
山田 麻里衣（音更小6年）

【敬称略】

《優秀》

いのこ そうすけ（下音更小1年）
稲船 絵菜（木野東小2年）
葛西 一花（鈴蘭小2年）
鈴木 陽都葉（音更小3年）
伊織 紗来（下音更小3年）
千田 弥生（下音更小3年）
猪子 寧音（下音更小4年）
葛西 柚花（鈴蘭小5年）
山口 美空（音更小6年）
横田 滉大（緑陽台小6年）

自由図書の一部

《最優秀》

新谷 直輝（緑陽台小3年）
新谷 遥輝（緑陽台小3年）
清水 陽叶（木野東小6年）
中島 伶（木野東小6年）
横澤 紗映（共栄中3年）
吉間 千夏（東土幌小2年）
工藤 瑠七（木野東小3年）

【敬称略】

西岡 璃乃（共栄中2年）

《佳作》

のざわ あやな（柳町小1年）
野澤 ひなた（柳町小3年）
山本 倅叶（音更小5年）
藤平 愛生（東土幌小5年）
佐々木 咲葉（音更小6年）
山口 葵（音更小6年）

工藤 陽輝（木野東小5年）
永澤 唯衣（共栄中3年）

《佳作》

さとう なお（東土幌小1年）
田崎 由依（下音更小2年）
千葉 遥輝（緑陽台小3年）
奥村 佳音（音更小5年）
上野山 虹心（駒場小5年）

本を読むことによって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を養うことができます。また、本から得られる知識や感動は人生を豊かにしてくれます。この読書感想文コンクールをきっかけに、今後多くさんの本に触れ、読書を楽しんでいただきたいと思います。

問合せ先

図書館 ☎ 32-24
24、FAX 32-2566

手打ちそば教室が行われました

12月7日(木)、ふれあい交流館で4年ぶりの開催となる生涯学習講座「年越し手打ちそば教室」が開催され、14人が参加しました。2人ずつ7グ



▲講師にコツを聞きながら水まわしをする参加者

ループに分かれ、講師の音更蕎麦研究会員からアドバイスをいただき、そば打ちに挑戦しました。
最初に講師がお手本となる実技を披露し、参加者は講師が見守る中、二八そば（そば粉8割に対しつなぎ粉を2割にしたそば）を打ちました。最後に講師がデモンストラーションで打ったそばを使い、麺のゆで方を学びました。
初めてそばを打った参加者は、「そば粉に水を注ぐ水まわしが難しかったが、丁寧にコツを教えてもらい、ためになった」と感想を述べていました。

手打ち麵を楽しむ会 を開催します

教育委員会は郷土の食文化を伝える講座を開催します。

▽とき 1月26日(金)、午前10時～正午

▽ところ ふれあい交流館

▽対象者 町内在住または在勤の成人

▽内容 昭和初期に活躍した小野式製麵機を使って二種類の麵(十勝産小麦のうどんとラーメン)を打ちます。作った麵を使い、ほうとうと担々麵の作り方のデモンストレーションを行います。

▽講師 生涯学習課食育・食文化プロデューサー 浦木明子

▽定員 8人(応募多数の場合は抽選し、後日全員に結果を連絡します)

▽材料費 千円(うどん3人前、ラーメン3人前を持ち帰ります。濃縮タレ付き)

▽持ち物 エプロン、三角巾、タオル、持ち帰り容器2個

▽申込方法 電話または下記の申し込みフォームで受け付けます。電話は平日午前9時～午後5時。

▽申込期間 1月4日(木)～15日(月)



▲申し込みフォーム

申込・問合先 教育委員会生涯学習課(内線776)

陶芸作品展 を開催します

教育委員会は、11月18日(日)に行った生涯学習講座「体験！小中学生陶芸教室」で作った陶芸品の作品展を開催します(入場無料)。

陶芸教室の様子については、11ページのまごの話題に掲載していますので、ぜひ併せてご覧ください。

▽とき 1月11日(木)～19日(金) 午前9時～午後5時(休館日の17日(水)を除く)

▽ところ 生涯学習センター

▽展示作品 お皿やマグカップ、花瓶など16作品(予定)

問合先 教育委員会生涯学習課(内線774)



青少年だより かけ橋通信

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症予防に対する行動制限が撤廃され、少しずつではありますが、子どもたちが積極的に活動できる機会が増えてきた年となりました。

まだまだ感染拡大の不安が続く状況ではありますが、子どもたちが痛ましい事故や事件に巻き込まれることなく、健やかに成長することを願って、家庭、学校、地域みんなで子どもたちを見守り、大切に育てていきたいと思います。

不審者・防犯

令和4年度は不審者だけではなく、変質者(下半身露出など)も複数発生するようになり、過去に類をみない発生件数となりました。

しかし今年度は、町のさまざまな取り組みや、警察とのスピーディーな連携により、少しずつ落ち着きを取り戻すことができました。

今後防犯パトロールや登下校時の子どもの見守り活動の取り組みを徹底し、地域ぐるみで不審者や犯罪から子どもたちを守りましょう。

交通安全

北海道の小学生の交通事故による死傷者数は、年々減少傾向にあります。小学校低学年の事故は、依然として全体の約7割を占めており、学校に慣れ始めた5月ころになると、1年生の登下校における歩行中の事故が増える傾向があります。特に低学年の子どもたちには、日頃から交通安全の基本的なルールを繰り返し教えましょう。



ネットトラブル

近年増え続ける子どもたちを巻き込んださまざまなネットトラブルに対する対策として、町では家庭内でのルールづくりやフィルタリング設定を呼びかけています。

親子相互の認識にずれがないよう、しっかりと確認し合い、取り組んでいきましょう。

非行防止

子どもたちのライフスタイルや興味関心が時代とともに変化し、昔のように深夜に遊び歩いたり、補導されたりするようになることは少なくなってきました。

しかしその一方で、非行のパターンはより複雑化しています。日頃から規範意識を高め、温かい家庭環境と地域社会を築きましょう。

